

第3編 今後5年間の政策推進の基本方針

着実に取り組むべき施策を進めつつ、次の方針に基づく政策に県行政と県民の英知を結集するとともに、「県民参加と協働」を政策を進める際の基本姿勢とし、「確かな暮らしが営まれる美しい信州」の実現をめざします。

方針1 「貢献」と「自立」の経済構造への転換

～信州の強みに立脚した「貢献」と「自立」の経済構造への転換～

- ① 技術集積と起業家精神を基礎とした次世代産業の創出
- ② 観光と農林業を基礎とした農山村産業クラスターの形成
- ③ 地勢と知恵を基礎とした環境・エネルギー自立地域の創造

方針2 豊かさが実感できる暮らしの実現

～安心・満足・誇りを得られる信州ならではのライフスタイルの充実～

- ① 「安心」して暮らすための健康づくりと医療の充実
- ② 「満ち足りた」暮らしのための雇用と社会参加の促進
- ③ 景観・自然・文化に囲まれた「誇り」ある暮らしの実現

方針3 「人」と「知」の基盤づくり

～地域の課題を自ら解決できる「人」と「知」の基盤づくり～

- ① 信州を元気にする「活動人口」の増加
- ② 良き人生を築き社会に貢献できる人材の育成
- ③ 県民参加と協働により地域課題を解決する県政の強化

発信 「信州」の価値向上と発信

～信州の強み、信頼性、信州人の誇りなど「信州」の価値を向上させ、統一感のあるブランドとして発信～

県民総参加による「信州」の誇りある発信と新たな「価値」の創造



第4編 プロジェクトによる施策の推進

方針1 「貢献」と「自立」の経済構造への転換

1 次世代産業創出プロジェクト



～技術集積と起業家精神を基礎とした次世代産業の創出～

目標

長野県の誇る高度な技術の集積、信州人の持つ起業家精神を基礎に、健康長寿や自然環境など地域の強みや資源を活かし、成長が見込まれる分野への積極的な展開や創業しやすい環境づくりなどを推進することにより、次世代の長野県経済を担う産業の創出をめざします。

	指標名	現状	目標(平成29年度)	備考
達成目標	一人当たりの県民所得(全国順位)	13位(270万1千円)(H21年度)	10位以内	生産活動に参加した個人、企業等にその対価として分配される所得を本県の総人口で除した額
	創業支援資金利用件数	376件(H23年度)	2,400件(H25～29年度累計)	長野県信用保証協会における県・市町村の創業に関する制度資金等の保証件数
	企業誘致件数	34件(H23年)	200件(H25～29年累計)	県内の敷地面積1,000㎡以上の工場・研究所の立地件数

アクション1 成長期待分野への展開支援

大学等研究機関や企業等との連携を強化し、国内外の需要を取り込むことなどにより、県内産業の成長期待分野(健康・医療、環境・エネルギー、サービス産業など)への展開を支援します。

- 県民の皆様へ
- 企業の皆様には、成長期待分野での積極的な事業展開をお願いします。
 - 大学などの研究機関の皆様には、成長期待分野での産業界と連携した研究開発の一層の推進をお願いします。

アクション2 戦略的企業誘致と創業促進

次世代を担う産業集積を進めるため、戦略的な企業誘致や「日本一創業しやすい環境づくり」に取り組みます。

- 県民の皆様へ
- 企業や団体の皆様には、企業誘致につながる情報の提供をお願いします。
 - 創業など、新しいことにチャレンジする起業家精神を大切にしましょう。

アクション3 産業人材の育成・確保強化

県外から次世代産業の中心となる人材を招くとともに、職業能力開発の体制を整備することにより、産業人材づくりを進めます。

- 県民の皆様へ
- 一人ひとり、自らの職業能力の開発やスキルアップに努めましょう。
 - 企業の皆様には、社員のスキルアップにつながる研修の充実を図るとともに、インターンシップの受け入れにも協力をお願いします。また、児童生徒の職業体験等のキャリア教育への支援をお願いします。

2 農山村産業クラスター形成プロジェクト

～観光と農林業を基礎とした農山村産業クラスターの形成～

目標

山岳や高原、美しい景観、伝統・文化などの長野県の強みを活かし、世界水準の山岳高原観光地の形成や日常の暮らしを楽しむことができる観光地域づくり、6次産業化など付加価値の高い農林業の創出により、農山村に県民の暮らしを支える産業の集積をめざします。

指標名	現状	目標(平成29年度)	備考
観光消費額	3,063億円(H23年)	3,300億円 (H29年)	県内観光地内で観光旅行者が支出した宿泊費、交通費、飲食費等の総計
農業農村総生産額	2,908億円(H22年度)	3,050億円	農産物産出額と農業関連産出額の合計額
外国人宿泊者数	20万3千人(H23年)	50万人 (H29年)	県内の外国人延べ宿泊者数
素材(木材)生産量	329千㎡(H23年度)	610千㎡	民有林と国有林における素材生産量

アクション1 世界水準の山岳高原観光地づくり

日本一の山岳環境や美しく豊かな農村景観を活かし、世界水準の山岳高原観光地づくりを進めます。

- 県民の皆様へ
- 観光関係の皆様はもちろん、県民の皆様も、世界に広く目を向け、地域の環境保全活動や美しい景観づくりなど、ソフト・ハード両面で世界に誇れる観光地づくりの取組をお願いします。
 - 観光関係の皆様は、長野県の強みを活かして、新しい観光需要に対応した商品をつくりましょう。

アクション2 県民参加型観光地域づくり

来訪者が長野県の日常の暮らしを楽しむことができるよう、県民参加による観光地域づくりを進めます。

- 県民の皆様へ
- 地域の人同士はもちろん、観光客の皆様に対しても明るい笑顔であいさつし、気持ちのよい地域をつくりましょう。
 - 信州のありのままの生活を観光客の皆様にも楽しんでいただけるよう、自信を持って発信しましょう。
 - 観光関係の皆様は、地域資源を活かした滞在プログラムづくりと提供を、地域の皆様と連携して行ってください。

アクション3 農林業の高付加価値化

農山村の暮らしを支える農林業の基盤を強化するとともに、6次産業化の推進やエネルギー施策などとの複合的な施策推進により、農林業の高付加価値化を進めます。

- 県民の皆様へ
- 県内で生産された農畜産物や木材、その加工品を積極的に購入・活用していただくと同時に、県外の皆様にもその素晴らしさをアピールしましょう。
 - 農林業関係の皆様は、技術力や経営力を高めるとともに、加工、販売等にも視点を広げ、6次産業化などにチャレンジしましょう。



おいしい信州ふーど(風土)ポスター

3 環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト

～地勢と知恵を基礎とした環境・エネルギー自立地域の創造～

目標

森や水など県民の貴重な財産である自然環境・資源を守り、活用しながら、地球環境への負荷が少なく、水資源や食料が安定的に確保される自立した地域をめざします。

指標名	現状	目標(平成29年度)	備考
発電設備容量でみるエネルギー自給率	58.6%(H22年度)	70.0%	県内全ての再生可能エネルギーによる発電設備の容量(発電能力)を県内の最大電力需要で除した数値。電力需要のピークに対する県内の全発電施設が100%稼働した場合の比率(理論値)を示す。
耕地面積	111,200ha(H22年度)	109,000ha	農作物の栽培を目的とする土地の面積
遊休農地の再生・活用面積	393ha(H22年度)	600ha	年間に再生・活用される遊休農地の面積

アクション1 省エネルギー化の促進

地球環境を保全し、限られた資源を有効に活用するため、家庭、事業者、建築物の省エネルギー化を促進します。

- 県民の皆様へ
- 家庭の省エネルギー診断や事業者の温室効果ガス排出抑制に向けた計画書制度などを積極的に活用して、コスト削減にもつながる省エネルギーに取り組みましょう。



節電・省エネキャラクター エネ丸

アクション2 自然エネルギーの普及拡大

地域主導型の自然エネルギービジネスの創出により、地域力、県民力で、自然エネルギーの普及拡大に取り組みます。

- 県民の皆様へ
- 住宅への太陽光発電の導入や自然エネルギー事業への参画など、それぞれの立場で自然エネルギーの普及拡大に向けた取組に参加しましょう。

アクション3 水資源の保全

信州の豊かな水を将来にわたって享受するため、水資源を保全するための取組を推進します。

- 県民の皆様へ
- 一人ひとりが水を大切にすることをもち、地域で行われる水資源の保全活動に取り組みましょう。
 - 企業や団体の皆様は、森林の里親になるなど健全な森林づくりに協力してください。

アクション4 安定的な農業生産の確保

県民の生きる糧である食を守るため、安定的な農業生産を確保するとともに、地産地消の取組を推進します。

- 県民の皆様へ
- 地元で生産された農畜産物を普段から積極的に消費しましょう。
 - 農業者の皆様は、大切な農地を守り続けてください。自ら耕作できないなど農地の利用でお困りの方は、市町村農業委員会などへ相談し、担い手へ農地を引き継いでください。また、経営規模の拡大などに取り組む方は、遊休農地の活用に協力してください。

方針2 豊かさが実感できる暮らしの実現

4 健康づくり・医療充実プロジェクト

～「安心」して暮らすための健康づくりと医療の充実～

目標

県民一人ひとりが長寿かつ健康で生涯にわたりいきいきと暮らせる長野県をめざします。

指標名	現状	目標(平成29年度)	備考
平均寿命	男性 80.88歳(H22年)	延伸(H29年)	0歳児の平均余命
	女性 87.18歳(H22年)		
健康寿命	男性 79.46歳(H22年)	延伸 平均寿命との 差の縮小(H29年)	日常生活動作が自立している(要介護度1以下)期間の平均
	女性 84.04歳(H22年)		
健康づくりのために 運動や食生活に関する 取組を行っている人の割合	運動 66.6%(H24年度)	72.0%	健康づくりのためウォーキングなどの運動を行っている県民の割合(県政モニター調査)
	食生活 84.5%(H24年度)		
自殺者数	493人(H23年)	430人以下(H29年)	1年間の自殺者数

アクション1 健康づくり県民運動の展開

県民の健康づくりを推進するため、市町村、医師会等医療関係者、医療保険者、健康ボランティアなどが一体となった県民運動を展開します。

県民の皆様へ

- 「自分の健康は自分でつくる」という意識を持ち、健康づくりの県民運動に参加しましょう。
- 日頃から気軽に楽しめるスポーツへの積極的な取組や健全な食生活の実践など自分の身体状況に応じた生活習慣の改善を心掛けましょう。

アクション2 三大死因に対する診療機能の向上

がん診療、救急医療分野での高度・専門医療機関を整備・充実することなどにより、三大死因(がん、心疾患、脳血管疾患)に対する診療機能の向上に取り組めます。

県民の皆様へ

- がんなどの生活習慣病の早期発見・治療のため、定期的に検診を受診しましょう。
- 日頃から自分の体重や血圧をチェックし、必要があれば早期に医療機関を受診しましょう。



アクション3 心の健康支援策の充実

うつ病などの早期発見・早期治療を行う医療連携体制の充実などにより、心の健康の保持・増進を推進し、自殺者を減少させます。

県民の皆様へ

- 自分の心の健康状態に気を配り、自分に合ったストレスの対処方法を身に付けましょう。
- 心の不調を感じた時は、一人で悩まず早めに周囲の人や長野県精神保健福祉センターなどの相談機関に相談しましょう。
- 身近な人の小さな変化に気付いて声をかけ、悩みを聞き、温かく見守りましょう。

アクション4 地域医療体制の強化

できる限り身近なところで医療を受けることができるよう地域における医療体制を強化するとともに、医療と介護との連携により、高齢者が安心して住み慣れた地域で生活できる環境を整えます。

県民の皆様へ

- 高齢者などの支援の必要な方々が、住み慣れた場所で安心して生活できるよう地域全体で支えていきましょう。

みんなで健康づくりに取り組もう!!

健康で長生きのためには若い頃からの健康づくりが大切よ

長野県の平均寿命は全国第1位*1なんだったね

私も減塩に取り組んでいます

長野県の脳血管疾患による死亡数の全体に占める割合は、全国より高い状況にあります*2

※1 長野県の平均寿命(H22)は男性(80.88歳)、女性(87.18歳)で男女とも全国1位となっています。(H22都道府県別生命表)

※2 脳血管疾患による死亡数の全体に占める割合の推移 (%)

年	長野県 (%)	全国 (%)
平成18年	15.5	11.5
平成19年	14.5	11.0
平成20年	14.5	10.5
平成21年	13.5	10.0
平成22年	13.5	10.0
平成23年	12.5	9.5

(厚生労働省人口動態調査)



5 雇用・社会参加促進プロジェクト

～「満ち足りた」暮らしのための雇用と社会参加の促進～

目標

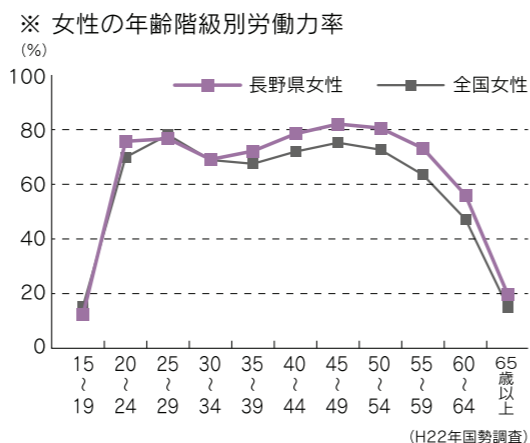
雇用環境や社会参加の仕組みを整備することにより、県民誰もが持てる能力を最大限に活かすことのできる社会をめざします。

指標名	現状	目標(平成29年度)	備考
就業率(全国順位)	1位(58.9%) (H22年)	1位 (H29年)	15歳以上人口に占める就業者数の割合
自分の能力が仕事や公共的活動で発揮できていると思う人の割合	68.6%(H24年度)	75.0%	「発揮できている。」「まあ発揮できている。」と回答した県民の割合(県政モニター調査)
県内高校生・大学生の就職内定率	高校生99.6% 大学生93.9% (H23年度)	高校生 100% 大学生 95.0%	県内の高校と大学(短大、高等専門学校、専修学校を含む。)の新卒者の就職内定率
障害者就職率	48.6%(H23年度)	55.0%	ハローワークにおける障害者の新規求職申込件数に対する就職件数の割合

アクション1 女性の雇用と社会参加の促進

企業・地域社会の意識改革や子育て支援策の推進、女性の就業継続や再就職に対する支援などに取り組み、女性の雇用と社会参加を促進します。

- 男性の方々も、家事・育児・介護などに主体的に参画して、女性が仕事と家庭生活を両立できる環境づくりに積極的に協力しましょう。
- 企業等の皆様には、女性の積極的な登用や女性が働き続けることができるような勤務制度の充実、男女ともに子育てや介護に携わることができる労働環境づくりをお願いします。



長野県、全国とも結婚・子育て期を迎える30歳代にかけて労働力率が下がる「M字」となっています。

アクション2 若い世代の雇用と自立の促進

ニートやひきこもりなど支援が必要な若者も含め、若い世代の雇用と自立を促進します。

- 就職などで社会に出る際の不安や悩みをお持ちの方が近くにいる場合は、若者を支援しているNPO、ジョブカフェ信州などに気軽に相談するようお願いください。
- 企業等の皆様には、若い世代が夢と希望を持って働くことができるよう積極的な採用をお願いします。また、インターンシップなど若者が労働に関心を持つことができる取組への協力をお願いします。

アクション3 人生二毛作社会の仕組みづくり

シニア・シルバー世代が、その培ってきた知識と経験を活かして、積極的に就業や社会参加を行うことができる「人生二毛作」社会実現のための仕組みをつくりまします。

- リタイアされたシニア・シルバー世代の皆様も、その豊かな知識や経験などを、社会や産業に積極的に活かしましょう。
- 企業等の皆様には、経験豊かなシニア・シルバー世代の積極的な活用をお願いします。



アクション4 障害者の社会参加と雇用促進

障害を理解し、障害者を応援する社会づくりや障害者が能力を発揮できる環境づくりを進め、障害者の社会参加と雇用を促進します。

- 様々な障害の特性を正しく理解し、障害者への気配りや手助けを積極的に行いましょう。
- 企業等の皆様には、障害者の就労に対する理解をさらに深めていただき、法定雇用率の達成をお願いします。また、法定雇用率の適用対象とならない企業等の皆様も、障害者の積極的な雇用をお願いします。



長野車いすマラソン

アクション5 多様で安心できる働き方の検討

誰もが自らの価値観を尊重し仕事と生活との両立が可能な社会をめざすため、多様で安心できる働き方について検討します。

- 企業等の皆様には、全ての人が働きやすいと感じる環境づくりをお願いします。



6 誇りある暮らし実現プロジェクト

～景観・自然・文化に囲まれた「誇り」ある暮らしの実現～

目標

美しい景観や自然、文化を守り、育て、活かすことにより、豊かなライフスタイルを充実させ、信州人としての誇りを持って暮らせる地域の形成をめざします。

指標名	現状	目標(平成29年度)	備考
行政サポートによる移住者数	456人(H23年度)	1,000人	1年間に県や市町村の支援を受け県内へ移住した人の数
都市農村交流人口	546,544人(H22年度)	600,000人	農業体験などで県内を訪れる都市住民の数
自分の暮らしている地域に誇りを感じる人の割合	83.9%(H24年度)	維持・向上	「感じている。」「まあ感じている。」と回答した県民の割合(県政モニター調査)
文化芸術活動に参加した人の割合	62.5%(H24年度)	70.0%	過去1年間に美術や音楽などの創作・鑑賞を行った県民の割合(県政モニター調査)

アクション1 農山村の活性化支援

伝統文化の継承や農山村ならではのライフスタイルの提案、地域に活力を与える多彩な人材の誘致など、市町村と住民が一緒になった「信州の宝」である美しい農山村の活性化を支援します。

- 皆様一人ひとりが地域の活動に参加するなど、愛着と誇りを持って、将来にわたって住み続けることができる地域づくりに一緒に取り組みましょう。



アクション2 地域づくり人材の確保・育成

「人の力」でふるさとを守るため、移住・交流を推進するとともに、地域づくりに取り組む人材の確保やリーダーの育成を推進します。

- 地域を元気にする取組を積極的に考え、行動しましょう。
- 他地域から訪問、移住する皆様に地域の良さや暮らし、文化などを積極的に伝えましょう。



アクション3 美しい景観の維持創造

豊かな自然や農山村の営みなどにより形成されている美しい景観の価値を維持・創造する取組を進めます。

- 景観が地域の自然や歴史、文化、風土等により育まれ、受け継がれてきた背景を理解し、地域の景観に誇りを持ちましょう。
- 良好な景観を育成するため、植栽や清掃・美化活動などの身近な取組を行いましょう。

アクション4 身近な自然環境の保全創造

多くの人々が豊かな自然とふれあうことができる身近な自然環境を保全・創造します。

- 身近にある素晴らしい自然に目を向け森林浴やハイキングなどを楽しむとともに、豊かな自然環境を守り育てる取組に協力しましょう。
- 企業や団体の皆様は、森林の里親になるなど身近な里山の整備に協力してください。

アクション5 個性際立つ文化芸術の振興

本県に数多く存在する個性際立つ文化芸術・文化財の継承と振興を進めます。

- 県内に数多くある美術館・博物館や文化会館を訪れるなど、文化芸術にふれる機会を多く持つとともに、伝統文化の継承活動に協力しましょう。



方針3 「人」と「知」の基盤づくり

7 活動人口増加プロジェクト

～信州を元気にする「活動人口」の増加～

目標

少子化対策の充実と移住・交流の促進により人口減少を抑制することに加え、様々な社会活動を活発化させることにより活動人口の増加をめざします。

指標名	現状	目標(平成29年度)	備考
県の推計値を上回る出生数	—	600人	結婚支援や子どもを持ちたいと希望する方に対する施策の実施によるH29年の出生数推計値13,888人(県企画課人口推計(H24.5月))を上回る出生数
行政サポートによる移住者数	456人(H23年度)	1,000人	1年間に県や市町村の支援を受け県内へ移住した人の数(再掲)
公共的活動への参加度	36.6%(H24年度)	50.0%	公共的活動に参加している県民の割合(県政モニター調査)

アクション1 結婚しやすい環境づくり

未婚者の出会いの機会の拡大や結婚生活を支える若者の雇用の安定化など結婚しやすい環境づくりに取り組みます。

県民の皆様へ

- 地域や企業等で若者の結婚支援を積極的に行いましょう。
- 企業等の皆様は、若い世代が夢と希望を持って働くことができるよう積極的な採用をお願いします。



松本市で開催された街コン(松con)

アクション2 子育てを支える環境づくり

仕事と家庭の両立支援に向けた取組などにより、1人目はもとより、2人目、3人目の子育てもしっかり支える環境づくりを進めます。

県民の皆様へ

- 誰もが安心して子どもを産み育てられるよう子育て世帯を支えましょう。
- 企業の皆様には、仕事と子育てが両立できる職場環境づくりへの取組をお願いします。



アクション3 移住・交流推進施策の積極的な展開

三大都市圏などからの移住希望者に対する総合的・横断的な移住・交流推進施策を積極的に展開します。

県民の皆様へ

- 暮らしの案内や空き家・農地の活用のお手伝いなどにより、移住者を地域全体で温かく迎え入れましょう。



楽園信州ファンクラブ



田舎暮らしの体験学習



移住・交流センターでの相談風景

アクション4 公共的活動の支援と協働の積極的推進

NPO等多様な民間の主体が行う公共的活動を支援するとともに、様々な主体との協働を積極的に進めます。

県民の皆様へ

- 地域の活動、公共的な活動に積極的に参加しましょう。
- 地域課題の解決や豊かで暮らしやすい社会づくりのために、皆様一人ひとりが協働の担い手となって、県と一緒に取り組んでください。



NPOなどの協働体による若者の創業の取組支援



8 教育再生プロジェクト

～良き人生を築き社会に貢献できる人材の育成～



目標

子どもたち一人ひとりが、学力や体力、人間性などを身に付け、自らの人生を切り拓き、社会に貢献できる人材として育つとともに、県民誰もが生涯にわたる学びを通じて自己を磨き、豊かな人生を送ることができる教育県をめざします。

指標名	現状	目標(平成29年度)	備考
学校満足度	小学校	90.4%(H23年度)	92.0% 「学校へ行くのが楽しい」と答える児童の割合
	中学校	85.7%(H23年度)	90.0% 「学校へ行くのが楽しい」と答える生徒の割合
	高等学校	75.3%(H24年度)	80.0% 「学校の授業が理解できている」と答える生徒の割合
全国学力・学習状況調査	「基礎的・基本的な内容の定着度」が全国平均より高い児童生徒の割合	小学校 61.8% 中学校 56.5% (H24年度)	小学校 65.0% 中学校 60.0% 全国学力・学習状況調査の主として知識に関する問題(算数A、数学A)で、全国平均より正答率が高い児童生徒の割合
	「学習したことを実生活の場面に活用する力」が全国平均より高い児童生徒の割合	小学校 58.0% 中学校 53.8% (H24年度)	小学校 60.0% 中学校 56.0% 全国学力・学習状況調査の主として活用に関する問題(算数B、数学B)で、全国平均より正答率が高い児童生徒の割合
全国体力・運動能力、運動習慣等調査での体力合計点(全国順位)	31位(H22年度)	10位台	全国体力・運動能力、運動習慣等調査での体力合計点の全国順位(小・中学校)
信州型コミュニティスクールの実施割合(小・中学校)	21.0%(H24年度)	100%	保護者・地域による学校支援や学校運営参画の仕組みができている小・中学校の割合
就業体験活動を実施した生徒数の割合(高校生)	52.2%(H24年度)	100%	高校在学中に1日以上就業体験活動を実施した全日制生徒数の割合
英語コミュニケーション能力水準	英語検定3級レベル(中学生)	19.8%(H23年度)	40.0% 中学校卒業時に英語検定3級レベルに達する生徒と高等学校卒業時に英語検定準2級レベルに達する生徒の割合
	英語検定準2級レベル(高校生)	30.0%(H23年度)	40.0%

アクション1 学力・体力の向上と多様な学習機会の提供

子どもたちの学力や体力を向上させるとともに、一人ひとりの個性に合った多様な学習機会を提供します。

県民の皆様へ

- 子どもたちの多様な個性や能力を大切にしながら、子どもたちをしっかりと見守り、支えていきましょう。
- 人口減少等に対応した新しい学校づくりについて一緒に考えていきましょう。

アクション2 地域に開かれた信頼される学校づくり

コミュニティスクールなど、家庭や地域が小・中学校を支える仕組みを構築し、地域に開かれ信頼される学校づくりを進めます。

県民の皆様へ

- 保護者はもとより地域住民の皆様は、学校運営に積極的な支援をお願いします。



アクション3 農林業体験など体験活動の推進

子どもたちの社会性や自主性を育むため、小・中・高等学校で農林業体験、福祉体験、就業体験など様々な体験活動を推進します。

県民の皆様へ

- 社会体験・職業体験への協力など、学校と連携して子どもたちの体験を通じた学びを支援しましょう。

アクション4 情報活用能力、英語コミュニケーション能力の向上

時代の変化に対応できる人材を育成するため、子どもたちの情報活用能力や英語コミュニケーション能力の向上に取り組めます。

県民の皆様へ

- ICT活用や英会話などの専門的な能力を持っている方は、学習ボランティアなどで児童生徒の学びの支援をお願いします。

アクション5 高等教育全体の振興

地域社会の発展に貢献できる有為な人材を育成するため、県内の高等教育全体を振興するとともに、県立4年制大学を設置します。

県民の皆様へ

- 県内高等教育関係者の皆様は、長野県の未来を担う人材育成に連携して取り組みましょう。
- 経済界の皆様は、インターンシップの受入れや大学との対話促進など高等教育機関との連携をお願いします。

アクション6 生涯にわたる学びの環境整備

生涯にわたる学びや学び直しができる環境整備を進めます。

県民の皆様へ

- 生涯にわたって様々な人々と関わりながら学びつづけるとともに、学びの成果を地域や社会に活かしましょう。



第1編 現状認識
第2編 長期的な視点に立った長野県の将来像
第3編 今後5年間の政策推進の基本方針
第4編 プロジェクトによる施策の推進
第5編 施策の総合的展開
第6編 各地域がめざす方向とその方策
第7編 計画を推進するための基本姿勢

第1編 現状認識
第2編 長期的な視点に立った長野県の将来像
第3編 今後5年間の政策推進の基本方針
第4編 プロジェクトによる施策の推進
第5編 施策の総合的展開
第6編 各地域がめざす方向とその方策
第7編 計画を推進するための基本姿勢

発信 「信州」の価値向上と発信

9 信州ブランド確立プロジェクト

～県民総参加による「信州」の誇りある発信と新たな「価値」の創造～

目標

都道府県レベルでは日本初の県民の総力を結集した総合的ブランド戦略に基づき、「信州」の価値に磨きをかけるとともに統一感のある発信を行い、信州ブランドが幅広く認知されることをめざします。

達成目標	指標名	現状	目標(平成29年度)	備考
	信州ブランドの県民認知度	—	80.0%	信州ブランドの確立に向けた取組を知っている県民の割合(県政モニター調査)
	都道府県別地域ブランドランキング	17位(H22年度)	10位以内	都道府県に対する「購入意向」「訪問意向」「居住意向」「独自性」「愛着度」の5項目についてのアンケート調査結果などを総合評価した民間調査結果

アクション1 信州ブランドの普及・拡大

信州ブランドコンセプトやキャッチフレーズの県内外への統一感のある発信を行い、信州ブランドを普及・拡大します。

- 県民の皆様へ
- 提供する商品や物産、サービスに込めた「想い」やストーリーを私たちの信州ブランドとして、誇りを持って主張しましょう。

アクション2 商品や物産、サービスの新たな価値の創造・発信

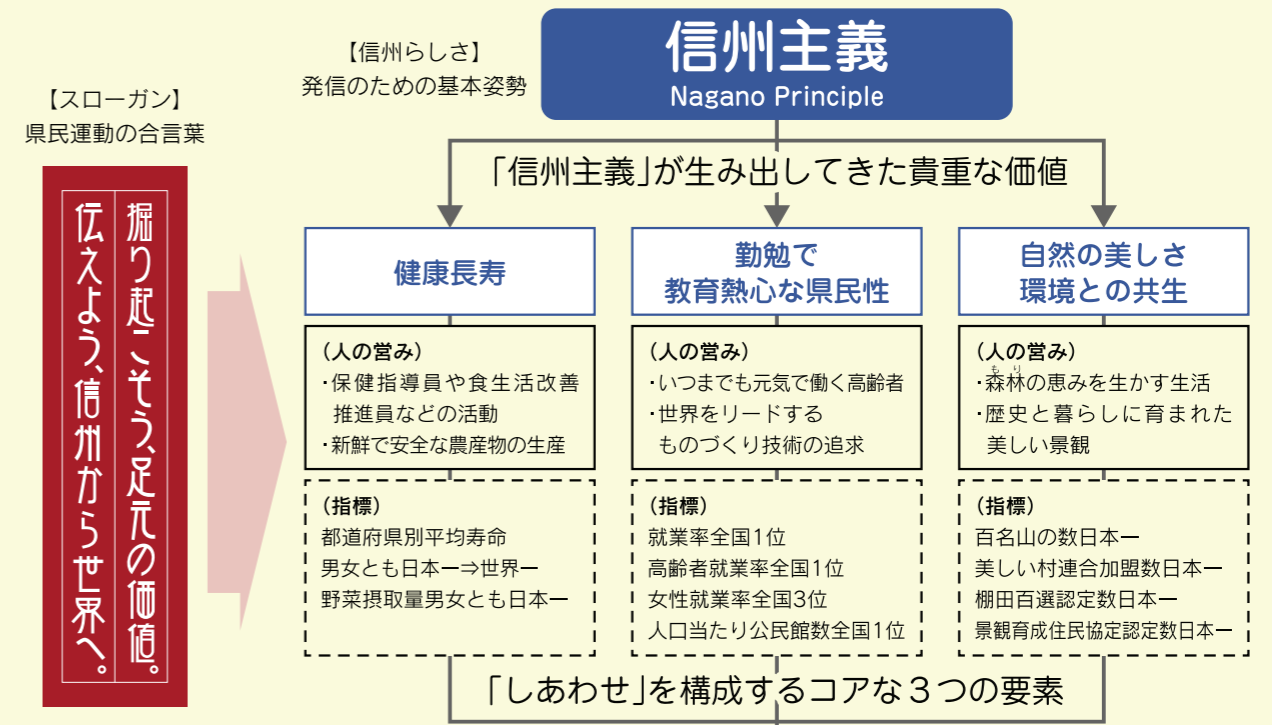
信州ブランドに相応しい商品や物産、サービスを提供する仕組みを構築するとともに、継続的に信州のブランド力を高め、人々の期待を上回る新たな価値を創造・発信します。

- 県民の皆様へ
- 様々な産業や地域づくりに携わる皆様は、信州に寄せられる期待に応えられるよう、質の高い商品や物産、サービスの提供や開発に努めてください。



信州ブランドフォーラム

信州ブランド戦略 「信州らしさ」とキャッチフレーズ、スローガン



【ロゴマークの愛称】
「信州ハート」

【キャッチフレーズ】
国内外への発信

キャッチフレーズ 「しあわせ信州」に込められた思い

信州で感動したもの…高原を吹きぬけるさわやかな風、満天の星、凜としてそびえる山岳、農村の豊かな暮らし、いつまでも元気で働ける喜び、スキーの後の温泉、何百年も受け継がれている祭り、製造業や工芸品に光る「技」、みずみずしい野菜や果物…数多くの声をいただきます。

私たちは、信州を愛する多くの人と、この「しあわせ」を分かち合いたいと思っています。「しあわせ信州」にはそのような願いが込められています。

表裏一体の関係

- 【長野県総合5か年計画 基本目標】
確かな暮らしが営まれる美しい信州
- 【長野県行政・財政改革方針の使命・目的(ミッション)】
最高品質の行政サービスを提供し、ふるさと長野県の発展と県民の幸福(しあわせ)の実現に貢献します。



第1編 現状認識
第2編 長期的な視点に立った長野県の将来像
第3編 今後5年間の政策推進の基本方針
第4編 プロジェクトによる施策の推進
第5編 施策の総合的展開
第6編 各地域がめざす方向とその方策
第7編 計画を推進するための基本姿勢

第1編 現状認識
第2編 長期的な視点に立った長野県の将来像
第3編 今後5年間の政策推進の基本方針
第4編 プロジェクトによる施策の推進
第5編 施策の総合的展開
第6編 各地域がめざす方向とその方策
第7編 計画を推進するための基本姿勢